



学校だより No. 12

# 日々新たに

尼崎市立日新中学校

平成30年3月23日発行

## 冬季オリンピックから

2月に開催された平昌オリンピックで、日本は金4個、銀5個、銅4個の史上最多の13個のメダルを獲得しました。そして、たくさんの感動のドラマがみられました。私にとって印象深かった3人のアスリートを、日新中の校訓に絡めて紹介してみたいと思います。

まず、最初は、フィギュアスケート男子の羽生結弦選手です。羽生選手は、ソチオリンピックに続き金メダル、2連覇達成でした。しかし、ベストコンディションでこのオリンピックに臨んだわけではありません。昨年11月、練習中に負った右足首靭帯損傷のため、痛み止めを飲まないでジャンプができない状態だったのです。演技後、足首を押さえていたのを「痛みがあったのですか？」とインタビューされると、羽生選手は「右足を触っていたのは感謝です。感謝の気持ちだけです。」と答えていました。彼のすばらしい所は、逆境にもめげず、応援してくれる人や自分の体への感謝を忘れず、笑顔で全力の演技を見せたことです。

彼のこの姿は、フィギュアスケート・ファンだけではなく、彼の演技を見たすべての人に勇気と感動を与えるものでした。羽生選手の頑張りとは、まさしく「明るさとたくましさをもって、自他を励ます」、日新中の「明朗」の校訓につながるものだと感じました。

2人目のアスリートは、スピードスケート女子の小平奈緒選手です。小平選手は、女子1000mで銀メダル、女子500mにおいては、オリンピック新記録で金メダルを獲得しました。そして、それ以上に感動させられたのは、金メダルが決まった後、勝負に敗れた韓国の李相花（イ・サンファ）選手の肩を抱きながら、一緒にウィニング・ランをするシーンでした。

李選手と小平選手とは、もともと10年来の親友だったそうですが、同時に、辛い練習と計り知れない重圧に耐え、世界の頂点を争ってきたライバルだったのです。小平選手が泣きじゃくる李選手に近づき、最初にかけて言葉は「チャレソ」という韓国語でした。これは、「よくやった」という意味です。そして、その言葉に続いて「今でも私はあなたを尊敬しているよ。」と耳元でささやいたそうです。

対戦相手に対して敬意を払う、これぞスポーツマンシップです。小平選手の李選手への思いやり、そして、2人の友情に、本当に感動させられました。この小平選手の姿は、「思いやりをもって、他者と助け合って生きる」、日新中の「協調」の校訓につながるものだと思います。

最後のアスリートは、残念ながら今回はメダルに届かなかったノルディックスキー・ジャンプの葛西紀明選手です。葛西選手は、1994年のリレハンメルオリンピックで団体銀メダル、そして、2014年のソチオリンピックでは、ラージヒルで銀メダル、団体で銅メダルを獲得しています。ですが、彼の功績はそれだけではありません。1992年の「アルベールビルオリンピック」に19歳で初出場して以来、なんと、史上最多計8回のオリンピック出場を果たしているのです。

さらに驚かされるのは、この平昌オリンピックに、45歳という年齢で出場したことです。葛西選手は、今回のオリンピック出場に向けて、体力や技術を維持するために、血のにじむような苦しい練習を積み重ねてきたのです。葛西選手は、インタビューで「次の北京オリンピックに、絶対出ます。」と力強く答えていました。4年後、49歳でのオリンピック出場をめざす、まさしく『レジェンド』です。

こうした目標をもって飽くなきチャレンジを続ける葛西選手の姿は、「夢や志をもって、自立をめざし、学び続ける」、日新中の「自主」の校訓に当てはまるものだと思います。

このように、自分の感動した出来事を、校訓に当てはめて考えてみるのも面白いことだと思います。今日は、一年間の学習を修める「修了式」ですが、生徒たちには、この一年間で自分が頑張ったことを思い出し、それが日新中のどの校訓に結びつくか、是非振り返ってほしいと思います。

校長 宮田 聡



## 学校評価結果

学校日より裏面に、平成29年度「学校評価」を公表します。「自己評価」は本校の教職員が、「学校関係者評価」は本校に関わりのある校長・教頭・PTA役員等の経験者である学校評議員が、評価者となります。

「学校関係者評価」では、「自己評価」及び生徒、保護者、地域住民対象の「学校アンケート」の結果を踏まえた評価と、学校運営に対する意見をいただきました。

「学校評価」結果と、学校評議員からの「学校関係者意見」を、来年度の学校運営に生かしたいと思えます。

## 学校説明会・部活見学会

2月28日(水)、本校に入学予定の七松小、立花南小、難波の梅小の6年生を中学校に招待し、生徒会役員から中学校生活について説明を行いました。最初は、緊張気味の小学生も、生徒会のお兄さん、お姉さんの優しく丁寧な説明にリラックスし、部活や学校の決まりについて、手をあげてたくさんの質問をしてくれました。説明の後には、部活動の様子も見学してもらいました。



## 小中連携 (出前授業)

3月12日(月)、日新中から七松小6年生へ英語と理科の出前授業を行いました。英語は、今西先生が、What is this? を色当てゲーム等を交えて教えました。また、理科は、西田先生が、塩酸と亜鉛の反応で発生させた水素でシャボン玉を作り、水素の性質を教えました。小学生たちは中学校の先生の楽しい授業が体験できて、中学校への期待がさらに大きく膨らんだと思います。



## 4月の主な予定

月	火	水	木	金	土	日
						1
2 春季休業日	3 春季休業日	4 春季休業日 部活中止	5 春季休業日	6 春季休業日 午前中部活中止	7	8
9 着任式・始業式 2,3年教科書配布	10 離任式 入学式準備	11 入学式 ※12:50 登校	12 対面式(1h) 1年3校時まで 23年視力・身体測定	13 生徒朝礼 1年視力・身体測定 全学年6時間授業	14	15
16 クラブ紹介(5.6h)	17 3年全国学力・学習 状況調査	18	19	20 生徒会専門委員会 掃除なし	21	22
23 12年家庭訪問 1,2年(月123)	24 12年家庭訪問 (火123)	25 12年家庭訪問 (道、火45) 3年修学旅行	26 12年家庭訪問 (火6、水23) 3年修学旅行	27 12年家庭訪問 (水45、木1) 3年修学旅行	28	29 <昭和の日>
30 <振替休日>						

<5月の主な予定>

5/7(月)：生徒朝礼 5/12(土)：土曜参観・PTA総会・育成部総会  
5/18(金)19(土)：1年宿泊学習 5/22(火)~29(火)：教育相談

5/17(木)：2,3年中間テスト

## ☆ 頑張る日新中生! ☆

●平成29年度18回ソロコンテスト

中学校2年生の部

優秀賞 2-4 梅本 朱莉 2-4 和田 咲千夏  
優良賞 2-4 藤島 楓

中学校1年生の部

優良賞 1-1 牧野 美海 1-3 植木 春花  
1-5 前田 愛依

●第22回全日本中学生高校生管打楽器ソロコンテスト  
関西大会中学生部門

優秀賞 2-4 梅本 朱莉



●第34回全国年賀はがきコンクール

優秀特選 2-3 阪本 佳奈

特選 2-4 山本 弥希 2-5 小坂田 夏希  
金賞 2-1 谷内 花菜 1-1 川合 こはる  
銀賞 2-5 川口 瑞稀 1-1 中元 歩希  
銅賞 1-2 久保 尋斗

●第35回戸田杯剣道大会

1年女子 3位 吉田 穂乃香

2年男子 優勝 武本 莉玖 3位 和辻 大輝

## 第56回卒業証書授与式

3月9日(金)、第56回卒業証書授与式が執り行われました。男子81名、女子85名、計166名の生徒が、日新中を巣立っていきました。式では、2年生を代表して田中小夏さんが送辞を、卒業生代表の久保奈鶴さんが答辞を述べました。答辞の後の「卒業生の歌」も涙を誘い、厳粛で感動的な卒業式となりました。



## ◎ お礼 ◎

この一年間、保護者の皆様、地域の皆様には、大変お世話になりました。皆様の学校教育に対するご理解とご協力のお陰で、無事一年を終えることができました。ありがとうございます。

来年度もまた、変わらぬご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

# 1. 学校評価(自己評価)

※ 評価の基準

4:十分達成できた 3:達成できた 2:取り組んでいるが成果が十分でない 1:取組が不十分である

学校教育に関する重点取組	評価
1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる  (1) 授業改善の取組を促進するとともに家庭との連携により、学力向上を推進する (2) 特別支援教育の取組を充実させ、自立や社会参加に向けた主体性を育成する	2.6
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る  (1) 道徳性育成の取組を促進し、思いやりに満ちた人間関係及び社会との かかわりづくりに努める (2) 基本的な生活習慣確立の取組を促進し、心身共に健全な育成を図る (3) キャリア教育の取組を促進し、社会的自立に必要な能力を育成する	2.7
3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む  (1) 食育を通して生活改善の取組を促進し、望ましい生活習慣を育成する (2) 体育・スポーツ活動の取組を促進し、体力・運動能力の向上を図る	2.4
4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る  (1) 安全教育の取組を促進し、登下校及び校内の安全確保を図る (2) 防災教育の取組を促進し、危機管理能力の向上を図る	2.8
5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む  (1) 教職員の資質向上の取組を促進し、学校の組織力及び教育水準の向上を図る (2) 地域の教育力を活用した取組を促進し、開かれた学校園づくりを図る	2.4
6 教育目標  (1) 教育目標の達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 教育目標の具現化と指導の充実	2.4
7 研究テーマ  (1) 研究テーマの達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 研究テーマの具現化と指導の充実	2.4

## 2. 学校評価(学校関係者評価)

※ 評価の基準      4:よく取り組んでおり、成果が大きい      3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる  
                          2:取り組んでいるが成果が十分でない      1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価
<p>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる</p> <p>・家庭学習の充実については、主体的学習の要素を含んでいるので、生徒本人に任せるだけではなく、学校としても意欲的に取り組んでもらいたい。</p> <p>・全国平均との差を縮め追い越すことで達成感が生まれる。今後も、引き続き、生徒に学習習慣をつけていってもらいたい。</p> <p>・先生方の並々ならぬ努力が感じられる。今後も、生徒たちが良い方向に向くように頑張ってもらいたい。</p> <p>・今後も、教職員が研修を深め、授業改善と指導力向上に努めてもらいたい。</p>	2.8
<p>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</p> <p>・長欠生徒への対応等、全職員の意識付け及び認識を積極的に図っている点が評価できる。</p> <p>・生徒が問題を解決したり乗り越えられるように、生徒の自立を助けることこそが、教員の最大の役割である。そのためにも、教育相談など生徒と交わる時間を十二分に配慮してもらいたい。</p> <p>・トライやる・ウィーク等の社会に参加することが、生徒にとってよい経験となっている。</p> <p>・思春期の中学生の心に寄り添い、適切な言葉がけで、「こころの教育」をすすめる「思いやり」の気持ちを学ばせてほしい。</p> <p>・日新オールグリーン大作戦や早朝の学校周辺の清掃は、地域住民の一人としてとてもありがたい。</p>	3.1
<p>3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む</p> <p>・食育はどのように生きるかという人生観にもつながる大切なもの。感謝と喜びをもって食することは、生徒の心身の充実にもつながる。</p> <p>・学校が主体となって実施するところと、家庭の責任として行うところをはっきりさせておくことも大切である。</p> <p>・学校の役割で大切なのは、生徒に規則正しい生活習慣をつけることで、魅力的な授業、学校行事、部活動が望まれる。</p> <p>・健康が、「やる気・根気・思いやり」を育み、学習への意欲が高まる。今後の食生活等、身体作りについての取組を期待する。</p> <p>・課外クラブ活動指導者の活用で、教員の負担軽減に取り組んでもらいたい。</p>	2.8
<p>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</p> <p>・安全・安心は努力なしには手にすることはできないという意識のもと、様々な取り組みを行っている点はすばらしいと思う。</p> <p>・防災マニュアルも整備され、生徒の防災意識も十分醸成されていると思うが、実際の災害時には、組織を動かす校長のリーダーシップが大切になる。</p> <p>・「南海トラフ地震」に備え、東北地震のビデオを見せるなど、命の尊さについて学ばせてほしい。</p> <p>・AEDの使用法やアレルギー対応研修の実施で、教員の意識向上に努めていることが評価できる。</p>	3
<p>5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む</p> <p>・家庭や地域からの信頼が得られていると安心してしまわず、常に謙虚に取り組む姿勢をもってもらいたい。</p> <p>・小学校への出前授業や小学生への部活見学会は、効果が必ず出るものと期待している。</p> <p>・学校HP等を活用して、日新中学校の教育実践を地域や行政に発信してもらいたい。</p> <p>・生徒が地域行事に参加したり、ボランティア清掃を行うことは、学校に対する信頼を高めるものであるため、今後も力を注いでほしい。</p> <p>・教職員の資質向上や、教育水準の向上をめざし、家庭・地域と連携して学校づくりに取り組んでいるのはすばらしいと思う。</p> <p>・「学校だより」を読ませてもらい、校長が生徒や保護者・地域に伝えたいことがよくわかり、大いに勉強になる。</p> <p>・「たそがれコンサート」は、地域住民で声を掛け合い参加させてもらっている。</p>	3
<p>6 教育目標</p> <p>・どのような生徒を育てるかを常に意識できる共通の目標を全職員が持って取り組んでもらいたい。</p> <p>・高い理想をめざす中に進歩があり、言葉は力として、意識をうみ、形となる。</p> <p>・教育目標を具現化する年間目標や短期目標を明確にして取り組むことが重要である。</p> <p>・「校訓」や「めざす生徒像」を意識づけし、それを持続させる努力が必要と考える。</p>	2.9
<p>7 研究テーマ</p> <p>・研究推進委員会を中心としたアクティブラーニングや少人数授業の取り組みは、今後の成果が大いに期待できる。</p> <p>・日新中学校の課題を踏まえ、的を絞って取り組んでもらいたい。</p> <p>・研究テーマを設定し、生徒が必要とする学習指導をめざしているのはとても良いことだと思う。今後、取組の成果を期待する。</p> <p>・生徒の主体的な選択で、きめ細かな学習指導を実施したこと、学習態度の育成が図れたことは評価できる。</p>	2.9